

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：衛生費 項：保健予防費 目：感染症予防費

事業名 肝疾患診療地域連携体制強化事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部感染症対策推進課 感染症対策第二係 電話番号：058-272-1111(内 4655)

E-mail: c11237@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 7,945 千円 (前年度予算額：7,945 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	7,945	3,972	0	0	0	0	0	0	3,973
要求額	7,945	3,972	0	0	0	0	0	0	3,973
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

我が国の肝炎ウイルス持続感染者は、B型肝炎が110～140万人(岐阜県で推定2万人)、C型肝炎が190～230万人(岐阜県で推定3万人)といわれている。肝疾患診療連携拠点病院を中心とした地域連携体制を強化するとともに、質の高い肝炎医療の提供体制の確立が必要である。

(2) 事業内容

肝疾患診療連携拠点病院(岐阜大学医学部附属病院)、次の事業を委託する。

ア 肝疾患診療支援センターの設置

メール、電話等の相談の応需、Webサイトからの情報発信等を行い、患者、家族、医療機関、市町村等への支援を行う。

イ 肝疾患診療連携拠点病院等連絡協議会の開催

県内の肝疾患治療の中核を担う病院との連携強化を図るため、連絡協議会を開催する。

(3) 県負担・補助率の考え方

国 1 / 2 県 1 / 2

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額 (千円)	事業内容の詳細
委託料	7,945	岐阜大学医学部附属病院への業務委託
合計	7,945	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 国・他県の状況

肝炎医療を提供する体制の確保に関する事項は国の肝炎対策基本指針（平成23年5月16日策定）の第4に位置付けられており、重要施策となっている。

これまで、国は「肝疾患連携拠点病院事業」において、岐阜大学医学部附属病院に直接助成を行ってきたが、平成28年度からは新たに「肝疾患診療地域連携体制強化事業」を設け、都道府県への助成事業となった。

(2) 後年度の財政負担

国の動向等を注視し、事業の継続、見直し等を検討

(3) 事業主体及びその妥当性

岐阜大学医学部附属病院は、すでに、県下唯一の肝疾患連携拠点病院として岐阜県の肝疾患専門医療機関の中心を担っており、肝疾患相談支援センターの設置、肝疾患連携拠点病院等連絡協議会の開催を行ってきた。

本県内において、このような医療機関は他にない。

事業評価調査（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

患者、家族、医療機関、市町村等への支援を行うとともに、県内の肝疾患治療の中核を担う病院との連携強化を図ることで、肝炎ウイルス持続感染者や肝炎患者等を適切な医療へ導く。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値	目標	達成率
肝疾患相談支援センターの設置	(H)	1 か所 (H29)	1 か所 (H30)	1 か所 (R1)	1 か所 (R3)	100%
拠点病院等連絡協議会	(H)	1 回 (H29)	1 回 (H30)	1 回 (R1)	1 回 (R3)	100%

○指標を設定することができない場合の理由

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

平成28年度以降、「肝疾患診療地域連携体制強化事業」により、肝疾患診療支援センターを設置。メール、電話等での相談対応業務を実施。

県内の肝疾患専門医療機関等と肝疾患診療連携拠点病院等連絡協議会を開催した。

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

肝炎ウイルス持続感染者や肝炎患者等を適切な医療へ導いた。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い、△：必要性が低い 	
(評価) ○	地域の医療連携強化の基点としての必要性が高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、△：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	肝疾患診療支援センターにおいて、患者から医療従事者まで幅広く寄せられる専門的な相談に応需し、地域の肝炎治療向上に貢献している。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある 	
(評価) ○	拠点病院等連絡協議会にて専門病院等と地域連携の課題を把握することができる。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 病院と地域の診療所との更なる連携強化が求められる。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 相談事業の特化、地域連携強化を提供すべく継続すべき事業である。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせる理由や期待する効果 など	